



やまゆり生活サポート協会が取り組んでいること

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
理事長 安藤浩己

新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されています。家庭や福祉施設では感染予防や感染後の療養に苦心されていることと思います。やまゆりでも予定していた研修会などが中止になるなどコロナ感染の影響を受けています。少しでも早く通常に戻ることを祈るばかりです。

さて、今回は、やまゆりの事業についてお話しします。言うまでもなくやまゆり生活サポート協会の柱は、会員の皆様が地域で安心して生活を送るための保険制度の提供と維持です。1999年12月、関係団体(※1)が共同して障害がある方々が病気や怪我で入院した時の個室代や付添いの費用、損害賠償に係る費用を相互扶助するための互助会を設置しました。この互助の精神が今でもやまゆりの事業や運営に引き継がれています。



その後、保険業法の改正により互助会による共済事業が継続できないことになりました。そこで全国的に同じ立場にあった互助会が連携して2006年に一般社団法人全国知的障害児者サポート協会を設置し、会員が継続して保険を利用できるようにしました。その翌年、やまゆり互助会はやまゆり知的障害児者生活サポート協会としてその傘下に入りました。やまゆりサポートも2017年には任意団体から一般社団法人に衣替えしました。

全国組織では会員に対する情報提供や福祉向上の取り組みが主な事業内容で、保険については副次的なサービスと位置付けられております。やまゆりサポートでも保険に関わる事業以外に知的障害児者及び自閉症児者その家族の生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的として、研修事業、構成団体との共催事業、本人支援及び支援者のサポート事業、相談事業などを行っています。残念ながらコロナ後は十分な活動はできていませんが、WEBによる研修会を開催するなどの工夫を行うほか、開催できなかった共催事業の予算の一部をバリアフリー能観劇の補助に充てるなど会員への還元に努めています。また、全国サポート協会で行っているアールブリュット展にも参加し、当事者の皆様の芸術、表現活動を支援しています。現在、応募作品を皆様に触れていただく方法について検討中です。

やまゆりサポートの予算や事業計画、会員拡大や保険の充実などについては構成団体等から選出された役員による理事会で決定されますが、これらの実務は3人の職員と1人の運営相談員によって行われています。保険の問い合わせへの対応、勧誘や保険料支払いに関する事務、会計処理、役員や事業推進員との連絡調整、協会が実施する事業の企画提案、調整、実施計画の作成、他機関との連携など多岐にわたり、忙しい日々を送っています。そのためすぐに連絡がつかない時もあるかと思いますが、どうぞご理解ください。事務局の仕事について紹介しましたが、事務局が一番大事にしているのは会員の皆様(今年度も皆様のお力添えのおかげでやまゆりの会員数が全国で一番でした。)とのつながりを保ち、時に会員の意見を全国サポート協会や保険会社に反映させることです。

また、やまゆりサポートは保険会社AIGの代理店であるJICの代理店的な立場にありますが、単に間の業務を担っているのではなく、全国レベルでも各県レベルでもこの三者で協議の場を持ち、保険の充実、維持発展のための提言、新たなニーズの把握と補償内容の検討などを行っております。互助の精神はここでも活かされています。これからも皆様の思いをやまゆりサポートや全国サポート協会に反映させたいと考えていますので、遠慮なくご意見をお寄せいただけると幸いです。

※1 手をつなぐ育成会(神奈川県域、横浜、川崎)、神奈川県知的障害施設保護者連合会、神奈川県知的障害施設団体連合会、神奈川県障害者地域作業所連絡協議会(互助会発足時は構成団体でしたが現在は違います)

令和3年度 決算報告

【運営費の部】

〔収入の部〕

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 額
会 費	23,688,399	24,252,020	563,621
雑 収 入	200	208,252	208,052
繰 越 金	22,634,858	22,634,858	0
合 計	46,323,457	47,095,130	771,673

〔支出の部〕

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 額
一般管理費	24,035,000	21,042,563	2,992,437
全サポ会費	1,974,700	1,952,300	22,400
事業費	2,000,000	1,344,599	655,401
(自主事業)		(894,599)	
(共催事業)		(450,000)	
予 備 費	18,313,757	22,755,668	△4,441,911
繰 越 金	0	22,755,668	△22,755,668
合 計	46,323,457	47,095,130	△771,673

【保険料の部】

〔収入の部〕

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 額
保 険 料	181,001,677	185,334,400	4,332,723

〔支出の部〕

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 額
保 険 料	181,001,677	185,334,400	4,332,723

令和4年度 予算

【運営費の部】

〔収入の部〕

(単位:円)

科 目	予算額
制 度 運 営 費	23,601,712
雑 収 入	100
繰 越 金	22,755,668
合 計	46,357,480

〔支出の部〕

科 目	予算額
一 般 管 理 費	20,152,000
全 サ ポ 会 費	1,974,700
事 業 費	2,000,000
予 備 費	22,230,780
合 計	46,357,480

【保険料の部】

〔収入の部〕

(単位:円)

科 目	予算額
預 り 保 険 料	181,021,302

〔支出の部〕

(単位:円)

科 目	予算額
預 り 保 険 料	181,021,302



令和4年度 役員名

役 職	氏 名	所 属 団 体 名
理 事 長	安 藤 浩 己	神奈川県知的障害施設団体連合会
副 理 事 長	出 縄 守 英	神奈川県知的障害施設団体連合会
副 理 事 長	中 川 孝 子	神奈川県手をつなぐ育成会
副 理 事 長	大 矢 武 久	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
理 事	斎 藤 喜 美 夫	神奈川県知的障害施設団体連合会
理 事	弦 巻 知 利	神奈川県知的障害施設団体連合会
理 事	今 井 康 雅	神奈川県知的障害施設団体連合会
理 事	杉 野 仁	神奈川県手をつなぐ育成会
理 事	美 和 とよみ	川崎市育成会手をむすぶ親の会
理 事	甲 山 謙 一	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
監 事	出 口 博 喜	神奈川県知的障害施設団体連合会
監 事	大 井 早 苗	神奈川県手をつなぐ育成会
相 談 役	神 谷 泰 子	一社やまゆり知的障害児者生活サポート協会

令和4年度 事業推進委員

所属団体名	氏 名
神奈川県知的障害施設団体連合会	安 藤 浩 己
	近 藤 誠
	永 野 祐 司
	涌 井 裕 美 子
	弦 巻 知 利
神奈川県手をつなぐ育成会	永 井 真 司
	近 藤 由 美 子
横浜市手をつなぐ育成会	荻 巢 理 子
川崎市育成会手をむすぶ親の会	吉 野 明 美
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会	大 矢 武 久
	石 川 初 枝
本 部	川 島 博 子

令和3年度 やまゆり共催事業報告

日 時	内 容	会 場	主催団体
R4/3/23	1.意思決定支援研修会 「津久井やまゆり園の意思決定支援」 コロナの為オンラインへ変更	相模原市障害者支援センター 一松が丘園 3階研修室	神奈川県知的障害施設団体連合会(相模原)
R4/3/11	横浜市知的障害関連施設協議会 研修会 コロナの為オンラインへ変更	横浜市健康福祉総合センター 8階 A/B会議室	神奈川県知的障害施設団体連合会(横浜)
R3/12/2 他 1 回	①人権・啓発研修「虐待について考えよう」 ②「障害支援区分認定調査」についての研修会 コロナの為中止	①神奈川県社会福祉センター 403 会議室 ②大和市保健福祉センター視聴角室	神奈川県手をつなぐ育成会
R4/3/1	第 35 回 知的障害者が地域で幸せに暮らすための共に考える集い コロナの為中止	横浜市健康福祉総合センター 一大会議室 F	特定非営利活動法人横浜 市手をつなぐ育成会
R4/3/7	研修・広報事業 ※令和2年度延期分 コロナの為中止	川崎市生活文化会館 2 階 「てくのホール」	川崎市育成会手をむすぶ 親の会

やまゆりは各構成団体の研修事業・活動を分担金(上限 10 万円)で応援しています!!





一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会 主催

「障害のある方々の意思決定支援…その人らしい暮らしの実現のために」

伊書のあつたあつたの意思決定支援…その人らしい暮らしの実現のために」

参加無料

2021年

12/3金

10:00▶12:00

Zoomオンラインセミナー

第一部

「障害のある方々の意思決定支援: その人らしい暮らしの実現のために」

<講師> 鈴木敏彦氏

一講師紹介—

すずき としこ

鈴木敏彦氏

京都短期大学教員、社会福祉士、
 神奈川保健福祉専門学校社会福祉協会の会長、相模原市障害者施策推進部の会長、日本相談支援専門員協会監事、社会福祉士・精神保健士・社会福祉士会員、
 神奈川県意思決定支援専門アドバイザーとして、津久井やまゆり園における意思決定支援の推進に関わっている。



第二部

「お子さまにお金を安心して残す信託のしくみ」

<講師> 株式会社ジェイアイシー（保険代理店・信託契約代理店）

参加希望の方は、下記アドレス又はQRコードからお申し込みください。

※本セミナーは、Zoomを利用したオンラインでの参加となります。

<https://bit.ly/3aDYTRb>



申込方法

お問い合わせ先は

株式会社ジェイアイシー TEL 0120-580-503

《主な項目》

- 1.ともに生きる社会の実現と意思決定支援
- 2.意思決定支援とは
- 3.意思決定支援のプロセス
- 4.意思決定支援が必要な場面
- 5.意思決定支援の3つの原則
- 6.チーム支援と第三者の視点
- 7.本人の人生に寄り添う意思決定支援
- 8.代理決定をめぐる
- 9.意思決定支援と地域づくり
- 10.意思決定支援が支援現場にもたらすもの

2021/12/3（金）令和 3 年度第 1 回目の講演会
がオンラインで開催されました。163 名のたくさ
んの方に参加をいただきました。

開催には(株)ジェイアイシーのご協力をいただきました。

感想等ご協力いただいたアンケートの中から一部を紹介します。(一部要約)

- 将来の事を考える良い機会を与えてくださってありがとうございます。またこのような機会がありましたら是非参加したいです。
- 意思決定支援について今までも勉強させていただいてきました。本人は意思を伝えるのが上手な方ではないので、どうやってその意思を汲み取るのかということが強い関心でした。本日、意思決定支援があるのに資源がないではすまされないというお話、本当にそうだと思います。意思を実現させるための活動の根拠がはっきり分かり腹が据わったという思いです。
- 息子が3歳の時にやまゆりの事件が起こり、とても衝撃を受け、障害のある子の子育て、将来がとても不安になりました。その後、テレビでやまゆりの事件のことを見聞きする度、なんとも言えない気持ちになっておりました。でも今回、鈴木先生のとても明るい語り口にとっても救われた気がしました。あの事件の背景をしっかりと捉え、障害を持つ方がよりよく生きられる取り組みがなされることを知り、息子の将来にも希望が持てるように思えました。
- 本日の内容は全ての支援者に共通するととても重要なものだと感じました。とてもわかりやすく、熱いながらもユーモアのある語り口で、最後まで楽しんで視聴しました。ありがとうございました。



横浜能楽堂では、平成１２年より障がいの有無にかかわらず一緒に能楽を楽しめる「バリアフリー能」を開催しています。（介助者は障害者の方１名につき１名まで無料です。）

*

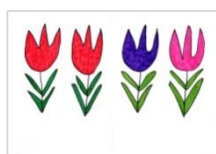
協力団体となっているやまゆり生活サポート協会では、入場料の補助をして会員の皆様楽しんでいただきました。
S 席、A 席、B 席、各 1,000 円の補助をして 31 名の方が鑑賞されました。
(席は前後左右に間を空ける等、コロナ禍に配慮されています。)

次回バリアフリー能の予定
令和5年3月21日(火)

予定につき変更となる場合もございます。

※詳細などは横浜能楽堂ホームページでご確認下さい





「チューリップ」
芦田 知枝さん



「クリスマスツリー」
飴谷 純さん



「キュウリ」
井上 敦史さん



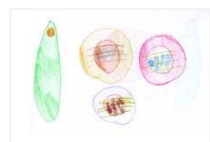
「とうもろこし」
横山 直木さん



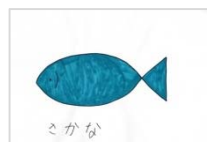
「Sさん」
加藤 明美さん



「コスモス」
外山 美子さん



「焼きそば」
角田 薫さん



「さかな」
菊地 勇貴さん



「おひさま」
菊池 美咲さん



「こいのぼり」
宮脇 千帆さん



「ふくろう」
高橋 未来さん



「トイストーリー」
今井 歩人さん



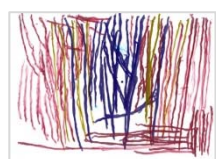
「無題」
今津 康輔さん



「がんばってね」
佐藤 賢治さん



「無題」
山本 一樹さん



「無題」
柴田 和豊さん



「無題」
森 深雪さん



「だれ」
生水 泰さん



「花」
斉藤 鈴代さん



「神さまのまつりのみこ」
石井 優紀さん



「懐しの駅食堂のスパゲティナポリタン」
赤塚 高志さん



「無題」
川瀬 和子さん



「江ノ電」
大坪 彩花さん



「ミュージシャン」
池田 健造さん



「春の本棚」
茶谷 成夫さん



「無題」
大坪 晴輝さん



「阿弥陀如来坐像」
渡貫 智成さん



「カサ」
渡部 峻太さん



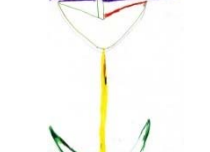
「貼り絵」
渡辺 早百合さん



「サイチョウ」
藤井 達也さん



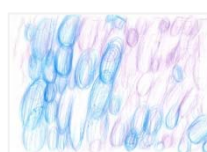
「赤い花」
藤江 美保さん



「一輪の花」
本山 和美さん



「無題」
麻尾 雅之さん



「くるくる」
満多野 明美さん



「ののの」
毛原 晃子さん

アールブリュット展 応募作品のご紹介 2



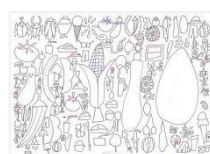
「ABC…ZY」
柳川 和広さん



「どうぶつたちの家」
落合 京子さん



「おすもうさん」
鈴木 秀雄さん



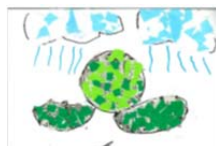
「夏いっぱい」
鈴木 驍さん



「やまさきさん」
大坪 晴輝さん



「さくら」
宮本 直弥さん



「6月の梅雨」
田辺 正美さん



「ふじさん」
坂本 力さん



「なつまつり」
高野 祐輔さん



「えがおのなのはな」
小松 由美さん



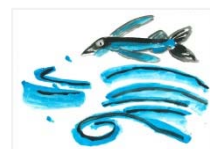
「巨人」
高橋 明良さん



「ふじ山」
沖山 良則さん



「月のイルカ」
黒澤 玲子さん



「とび魚」
中神 広正さん



「赤いオウム」
泊 由紀子さん



「ピンクの電車」
阿部 峰也さん



「こぎん刺し」
則元 理人さん



「パプル」
原 利恵さん



「極楽花鳥」
林 海斗さん



「ブルメリアとピカケのハーモニー」
藤原 佐和子さん



「魔女の宅急便」
鈴木 紀子さん



「東京魂」
一ノ瀬 大輝さん



「ボーリング」
石渡 健司さん



「無題」
見留 裕さん



「無題」
小林 新吾さん



「無題」
森 隆之さん



「無題」
生江 麻理子さん

《2023 年度作品募集》
2023 年 2 月～4 月末まで
ご連絡下さい、募集要項をお送りします。
たくさんのご応募をお待ちしています。



ジャンルは問いません！！
陶芸・絵画・手芸等、ご自分の作品を発表してみませんか。
お待ちしております。



鈴木 憲太郎

平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。生活サポート総合補償制度でお世話になっております株式会社ジェイアイシーの鈴木と申します。

コロナもようやく終わりが見えてきたようで、実はまだまだ手探りな部分が多く、皆さまご不安に思われることも多いかと思えます。弊社としましては、皆さまのご不安を受け止め、誠意をもって対応させていただきます。ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせいただけたらと思います。

個人的にこのところ思うことがありました。この夏にエリザベス女王が亡くなり、また先月末には三遊亭円楽さんが亡くなりました。どちらも存じ上げていた、程度であった筈でしたが、いざ亡くなったと聞いた時にかなりショックを受けていた自分がいました。意外と自分の意識していないところで、色々な方に、それこそ身内親戚から直接会ったことはない有名人まで、私は支えられて生きているのだな、と実感しているところです。

弊社は、主に障がいのある方の生活を支えていくことを目指している会社です。コロナ禍から目立つようになりましたが、人々の「分断」が色々と言われています。本来人は支え支えられて生きていくものだと思っておりますが、そういったことを見失いがちな世の中なのかもしれません。せめて自分自身は、どこかで誰かの支えになれていたなら、とそういう思いを新たにした 2022 年の夏でした。



昆野 将大

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

生活サポート総合補償制度を担当させて頂いております株式会社ジェイアイシーの昆野と申します。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まって、早 2 年半が経ちました。第七波以降、少しずつコロナに対する緊張も緩和されつつある昨今ですが、心から安心できる生活に戻るまでは時間がかかることと思われます。

弊社でも、毎週検査を行った上で安全に配慮しながら、徐々に訪問活動を再開しております。

そうした中、生活サポート総合補償制度におきましても、大きな扱いの変更がございます。

これまで「新型コロナウイルス感染症 特別措置」として、新型コロナウイルス感染症に罹患してしまった際に、病院への入院だけでなく、自宅療養や宿泊施設での療養についても、「みなし入院」として、入院給付金の対象としておりましたが、この特別措置が終了となります。

(2022 年 9 月 26 日以降に新型コロナウイルス感染症に罹患された方においては、重症化リスクの高い方のみが、「みなし入院」による給付の対象となります。)

これは昨今の罹患者における重症者の割合の減少と、政府による発生届の範囲の変更に準ずる措置となっております。会員の皆様にとっては、不利益な変更となってしまいますが、何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

ただ、これまで同様少しでも皆様の「安心」をお届けできるよう努めてまいります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。



鈴木 志穂

平素はひとかたならぬご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

生活サポート総合補償制度を担当させて頂いております株式会社ジェイアイシーの鈴木と申します。

日頃、保険金請求をはじめ、お客様のお問合せ対応をさせていただいております。事故のご連絡では、電話の向こうのお客様が少しでも不安を安心に変えられる様、お客様に寄り添った案内ができる様こころがけております。

コロナ禍がまだまだ収束せず、不安定な社会情勢が続きますが、私どもでお役に立てることがありましたら、精一杯サポートさせていただきますので、お気軽にお申し付けください。今後ともお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

《 やまゆり生活サポート協会 支払実績 》

●支払い金額

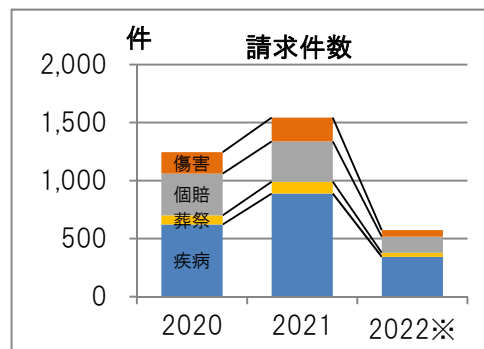
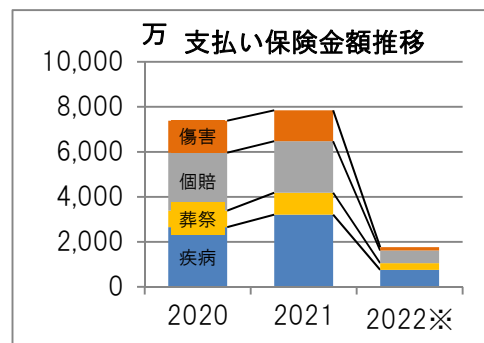
年度	2020	2021	2022※
疾病	26,554,320	32,061,000	7,551,000
葬祭費用	7,306,600	9,800,000	3,000,000
個人賠償	25,779,742	22,852,440	5,635,362
傷害	14,171,100	13,779,500	1,498,100
お支払保険金 合計	73,811,762	78,492,940	17,684,462

●請求件数

年度	2020	2021	2022※
疾病	621	888	343
葬祭費用	79	102	35
個人賠償	360	348	139
傷害	186	206	56
請求件数 合計	1,246	1,544	573

※2022年度は9/30までの実績。

コロナの感染拡大に伴い入院諸費用の支払いが急増中です。付添介護と室料差額のお支払いがほぼ無い状況なのでお支払金額はそこまで増えていないという印象です。また、コロナ関連の請求が多いため保険会社でお支払いにかなりの時間をいただいております恐縮ですが、今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。



やまゆり事務局からのお知らせ

【新型コロナウイルス感染症における入院特別措置の対象範囲変更】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い2020年4月より実施しております「入院の特別措置（以下「みなし入院」）」の対象を2022年9月26日（月）以降、以下のとおり見直しを行います。

＜「みなし入院」による入院保険金等のお支払い対象＞

2022年9月26日（月）以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方のうち、重症化リスクの高い以下の方（※1）（※2）を「みなし入院」による入院保険金等のお支払い対象とします。

- 65歳以上の方
- 入院を要する方
- 重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方
- 妊婦

（※1）保険期間の開始日に関わらず同様の取扱いとなります。

（※2）2022年9月25日（日）以前に感染が診断された方は、上記以外の方も引き続き入院の特別措置によるお支払い対象となります。

【対象となる保険金とお支払いの可否】（2022年9月26日（月）以降）

療養先 保険金	病 院	臨時施設	障害者支援施設 (入所施設)	自 宅
傷害疾病入院一時金	○	×	×	×
傷害疾病入院諸費用保険金	○	×	×	×
傷害疾病室料差額費用保険金	○	×	×	×
傷害疾病付添介護保険金	○	×	×	×

※療養先が臨時施設・障害者支援施設（入所施設等）・自宅の場合は上記記載の『「みなし入院」による 入院保険金等のお支払い対象』をご参照ください。

なお、ご不明な点、ご質問等がございましたら、担当代理店（株）ジェイアイシーまでご連絡下さい ☎03-5321-3373

神奈川県手をつなぐ育成会と神奈川県知的障害施設団体連合会の紹介です。
構成団体としてやまゆりの活動を支援いただいています。

神奈川県手をつなぐ育成会のご紹介

神奈川県手をつなぐ育成会は、神奈川県の子どもの知的障害児等の親や支援者で構成された団体です。
(一社)全国手をつなぐ育成会連合会、関東甲信越ブロック手をつなぐ育成会連絡協議会に所属しています。障害があっても1人ひとりの意思が尊重され、人権が守られ、生涯にわたって安心してあたりまえの暮らしができることを願って活動しています。

会の発足は1956年、当時と比べると先輩方の功績もあり福祉制度やサービス等はよい方向へと向かってきているようですが、時代とともに新たな課題も増えてきています。それらに対応すべく私たちは当事者団体ならではの生の声を上げ続けています。主な活動は国県市町村への要望・提言の発信、障がい理解や啓発活動のための研修会の開催、そしてイベントや交流会等です。

(一社)やまゆり知的障害児者生活サポート協会さんにはこれらの活動を共催事業助成金という形で応援いただいております。

一人でも多くの仲間と活動できれば…と当会に参加していただける方を絶賛募集中です。よろしくお願いいたします

ホームページをご覧になりたい方はこちらを検索して下さい

<https://ikusei-kanagawa.jp>

神奈川県手をつなぐ育成会

検索



神奈川県知的障害施設団体連合会のご紹介

神奈川県知的障害施設団体連合会は、全国組織となる公益財団法人日本知的障害者福祉協会の地方会としての位置付けで、特に神奈川は3政令市により行政管轄が分かれているため、県域・横浜・川崎・相模原の四県市協会をもって構成する連合組織となっています。

当連合会の設立は、昭和30年代初めの「のびる会」から始まり、昭和38年には当連合会の前身「神奈川県愛護協会」が発足以来、時代の変遷を経て現在の体制になり令和5年で60周年を迎えます。現在、加盟の施設・事業所は425か所となります。

当連合会の特色は、利用者ご本人とともに作り上げた権利宣言である「あおぞらプラン」にあります。利用者ご本人のライフステージの中で意思決定できる環境を整え、セーフティネットとして多様な福祉サービスが有機的、循環的に連携することを目指しています。職員の育成についても部会・委員会の各種研修、実践報告会を通じて専門性の向上と交流を図っています。

そのような中で、やまゆり生活サポート協会の生活サポート総合補償制度をはじめ研修会や共催事業助成制度は、利用者ご本人、ご家族の安心を支え、私たちの様々な活動を応援してくれています。

当連合会は、今後とも「ともに生きる」社会を実践の中で発信し、地域に貢献できる施設・事業所を目指していきますので、よろしくお願いいたします。

ホームページをご覧になりたい方はこちらを検索して下さい

<https://kanagawa-id.org>

神奈川県知的障害施設団体連合会

検索



編集後記

行動制限が緩和された夏を3年ぶりに迎えました。しかし、まだまだ不自由な生活が続いています。これからもやまゆり生活サポート協会は障害のある方が安心して、地域の中で生きがいのある生活が送れますようお手伝いさせていただきます。(事務局長 田山 圭子)

一般社団法人
やまゆり知的障害児者生活サポート協会
事務局〔編集〕

〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2

神奈川県社会福祉センター内

Tel:045-314-7716

Fax:045-324-0426

■構成団体■■■

神奈川県手をつなぐ育成会

神奈川県知的障害施設団体連合会

NPO法人 横浜市手をつなぐ育成会

川崎市育成会手をむすぶ親の会

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

